



クリスチャン・ツイメルマン ©KASSKARA/DG



幸田浩子



ロレンツォ・ギエルミ ©Sergio Caminata

FOCUS

1.11 月祝 クリスチャン・ツイメルマン ピアノ・リサイタル  
ツイメルマン氏の記者会見レポート in MITO

文 中村晃

クリスチャン・ツイメルマン氏が、日本ツアーのスケジュールの合間を縫って、今回のオール・シューベルト・プログラムのコンセプトをお伝えしたいと、水戸芸術館に来館され、記者会見を開きました。そのエッセンスをレポートします。

水戸を訪れて

このたび水戸を訪れることができ、とても嬉しく思っています。最後にこちらの方面に来たのは、東日本大震災の時でした。今日は、ここまで東京から自動車であつたのですが、その途中で、震災から復興されて、皆さまが生活を立てなおしていらっしゃる様子を拝見できて、本当にうれしく思っています。東日本大震災の時は、私も東京におりました。その後5週間、日本に滞在しましたので、福島での出来事などもよく知っております。その後、東北にも行きました。その時の日本の皆様の対応をつぶさに見させていただき、日本人に対する私の尊敬の念は、ますます高くなりました。

今回の演奏曲について

1970年代初めに〈7つの軽快な変奏曲〉の楽譜が再発見され、私は1971年

に初演させてもらっているのです、この作品にとっても親しみを感じております。皆様はおそらく、これがシューベルトの作品かどうか、疑問を持たれていることと思います。最初に楽譜が見つかったのは、エッセンバッハの故郷でもあるポーランドのブレスラウという、古くから音楽の伝統のある街で、かの地では有名な音楽家達を次々に招いて、色々なコンサートが開かれてきました。そして、シューベルト(当時13歳)がお父さんに連れられてそこにやって来たわけです。このような若い才能が来ると、当地の出版社が譜面を印刷して紹介するという習慣があり、その印刷物にこの〈変奏曲〉が掲載されています。この事から、〈変奏曲〉がシューベルト作品であることの信憑性は、かなり高いのではないかと考えています。

今回は、最後の3連作のソナタの中でも特に私の好きなイ長調(第20番)と変口長調(第21番)のソナタを取り上げ、そして最初にこの〈変奏曲〉をもつてくることで、シューベルトの初期と晩年の作品をトータルにご紹介できるプログラムにしようと思いました。〈変奏曲〉から最後のソナタ作品まで20年足らずしか隔たっていないのですが、この短期間のうちにシューベルトがどれほど成長したかということが窺い知れることと思います。

この〈変奏曲〉をプログラムに入れたもう1つの理由なのですが、ご承知のようにシューベルトはハイドンとベートーヴェンをたいへん尊敬していました。シューベルトは、亡くなる7週間前位(1828年)にハイドンの墓に花を捧げるために、片道70kmの道のりを徒歩で、アイゼンシュタットに赴いています。それだけハイドンのことを尊敬していました。この〈変奏曲〉は若き日のハイドンを彷彿とさせるような喜びに満ちた、そして古典的な様式を持つ作品なので、ある意味、ハイドンへのオマージュとして、今回プログラムに入れました。(編集者注:一方、ソナタ〈第20番〉は、作曲された前年に逝去したベートーヴェンへのオマージュと評されている作品です。)

2015年11月27日  
水戸芸術館にて  
協力: ジャパン・アーツ

クリスチャン・ツイメルマン  
ピアノ・リサイタル

1/11 月祝 18:30 開場  
19:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM  
全席指定 A席 8,500円・B席 7,000円/  
ユース(25歳以下) 3,000円

曲目  
シューベルト:  
7つの軽快な変奏曲 ト長調  
ピアノ・ソナタ第20番 イ長調 D959  
ピアノ・ソナタ第21番 変口長調 D960

## 1.30 土 ちょっとお昼にクラシック 幸田浩子 (ソプラノ)

## 世界を魅了するソプラノの歌声が、初春を美しく彩る

文 高巢真樹

ランチタイムに一流の音楽家による演奏とトークで、上質なひとときをお過ごしいただく人気シリーズ「ちょっとお昼にクラシック」。1月には、世界が認めた美しき才媛、ソプラノの幸田浩子さんにご登場いただきます。

ヨーロッパの名門歌劇場を魅了する歌声 小鳥のさえずりを思わせる可憐で華やかなコロラトゥーラ、上品で深みのある中低音域の響き、そして曲を内側から輝かせる精度の高い表現力で、幸田さんはいま最も人気のある日本のソプラノのひとりに数えられます。その実力は、ヨーロッパの数々の名門歌劇場で磨かれてきた賜物。幸田さんは渡欧後、数々の国際コンクールで上位入賞し、ローマ歌劇場やベッリーニ大劇場など、数多くの大

舞台上で脚光を浴びてきました。その後、ウィーン・フォルクスオーパーの専属歌手に抜擢されました。「フォルクス」は、ドイツ語で「市民の」という意味ですが、名前の通り、そこは老若男女が気軽に集い、生きる喜びと活気に満ちたオペレッタやオペラなどを楽しむ、音楽の都ウィーンの“顔”のひとつ。幸田さんはこの世界屈指のオペレッタの殿堂に出演し、美しさや感情を心に響かせる歌唱力で、かの地の聴衆を魅了しました。帰国後も多彩な活動を展開していますが、水戸芸術館では2011年の「ニュー・イヤール・コンサート」に出演。「人間の声は最高の楽器であることを実感した」といったお客様のご感想をたくさんいただきました。

初春を祝うにふさわしいプログラム

4年ぶりの登場となる今回は、幸田さんの歌声を、色とりどりの音楽を詰め合わせたギフトボックスのようなプログラムでお楽しみいただきます。誰もが微笑まずにはいられない生きる喜びに満ちたオペレッタのメロディ、「歌曲王」とも呼ばれるシューベルト(1797～1828)が書いた「糸を紡ぐグレートヒェン」や「楽に寄す」などの名曲、深い情感を湛えた日本のうた、そして日本が世界に誇る作曲家、武満徹(1930～96)の柔らかな感性で綴られた歌…。色彩感豊かな幸田さんの歌声と、絶妙な表現で寄り添う藤満健さんのピアノで、まだ寒さ厳しい睦月に、音楽の歓びと温もりをともに味わいませんか？



担当者セレクト！幸田浩子のアルバム3選



《スマイル—母を想う—》  
UOCQ-85257 (2015年)  
映画音楽、ミュージカル、子守唄、歌曲…幸田浩子さんがいま心から歌いたいと感じる曲を集めた最新アルバム。音楽と亡き母への感謝をたずさえた歌声が、まるで乾いた大地に降り注ぐ慈雨のように、聴く者の心をそっと潤し、励ましてくれる。



《ワルツの夢～幸田浩子・イン・ウィーン》  
COCQ-84986 (2012年)  
音楽の都・ウィーンの薫り溢れるワルツやオペレッタを、自身も専属歌手として幾多の喝采をあげてきた名門劇場ウィーン・フォルクスオーパーのオーケストラとの共演で収録。心躍る楽しい舞台の数々が目に浮かぶ、宝石箱のような華やかさに満ちた1枚。



《ふるさと～日本のうた～》  
COCQ-85005 (2013年)  
日本人の心の風景を思わせる懐かしい歌、作曲家・武満徹の歌、そしてあの復興支援ソング…幸田さんがふるさとへの祈りをこめて綴った日本歌曲集。一音一音を繊細にあつかう豊かな音楽性と表現力が、「うた」たちに豊かな情感をと輝きを与えている。

ちょっとお昼にクラシック  
幸田浩子 (ソプラノ)

初春を彩る、珠玉の歌の花々

1/30 土 13:00 開場  
13:30 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM  
全席指定 A席 1,500円、B席(ステージ裏) 1,200円 (いずれも1ドリンク付き)

出演 幸田浩子 (ソプラノ)、藤満 健 (ピアノ)

曲目

ヨハン・シュトラウスII世：春の声

シューベルト：まず、野ばら、子守歌、

糸を紡ぐグレートヒェン、楽に寄す

大中寅二(島崎藤村/詞)：椰子の実

成田為三(林古溪/詞)：浜辺の歌

武満徹(武満徹/詞)：小さな空、翼

オスカー・シュトラウス：オペレッタ〈ワルツの夢〉

より\*扉を開けて ほか

## 2.3 水 ロレンツォ・ギエルミ オルガン・リサイタル

## バッハのオルガンの響きが、ギエルミの手で私たちの前に

文 篠田大基

イタリアを代表するオルガニスト、ロレンツォ・ギエルミ。彼の演奏は、聴く人に新鮮な印象を与えずにはおかない、独特な魅力を放っています。ユニークな音色の組み合わせ、自在に加えられる旋律装飾、そして何より、引き締まったテ

ンポとクレのあるパッセージには、一聴して忘れがたいインパクトがあります。2月3日、水戸芸術館のエントランスホールで、ギエルミが弾くオルガンを、ぜひ生で味わっていただければと思います。

もし、ギエルミの名前を聞いたことが

なかった方も、バロック音楽に関心をお持ちでしたら、イタリアの古楽演奏集団「イル・ジャルディーノ・アルモニコ」(IGA)をご存知の方はいらっしゃるかもしれません(もしご存知なければお聴きになる価値あります。面白いです

よ！)。リコーダー奏者のジョヴァンニ・アントニーニが指揮と音楽監督を務め、個性派ヴァイオリニストとして有名なエンリコ・オノフリがコンサートマスターを務めていたこともあるこのアンサンブルは、激しく鋭いリズム感と、芝居気たっぷりの自由な即興性によって、特にヴィヴァルディの演奏でセンセーションを巻き起こしました。ギエルミはIGAが結成された1985年から91年まで、通奏低音奏者としてこのグループに所属し、その草創期を支えた一人でした。それゆえでしょうか。IGAの音楽性は、ギエルミのオルガン独奏にも通じているように思われます。

オール・バッハ・プログラムでお贈りする今回のギエルミのリサイタルでは、バッハがオルガン用に編曲したイタリア・バロックの協奏曲が、プログラムの中核に据えられました。原曲はヴィヴァルディとマルチェッロ。ギエルミがIGA時代から通曉している作曲家たちの作品です。バッハは、当時隆盛を誇っていたイタリアの音楽様式を学ぶために、これ

らの作品の編曲を手掛けたと言われていいます。それは、単に楽譜を読んでオルガン用に書き直す練習というだけの意味にとどまらず、オーケストラで演奏される原曲を一人で弾けるように直すことで、実際に弾きながらイタリアの音楽様式を血肉化しようとしたのだと推察されます。バッハの弟子が記したバッハの伝記によると、バッハは、とりわけヴィヴァルディ作品の編曲を通じて、楽想の展開や対比の方法、効果的な転調の用い方を学んだといわれており、これらの編曲を終えてからは、ヴィヴァルディの音楽性を十全に表現できるように、オルガンを猛練習したと書かれています。

バッハはどのようなオルガニストだったのでしょうか。資料を調べると、バッハのオルガン演奏のいくつかの特徴が浮かび上がってきます。まず、バッハはオルガンの音色の組み合わせ方が巧みで、オルガンがとてもよく響いたと言います。そして、バッハは速弾きが得意で、特に足鍵盤の技術に秀でていたとされています。バッハの演奏を聴いた人々の感

想のなかには、「目にもとまらぬ早業」、「驚くべき速力」といった感嘆の言葉がしばしば登場しているのです。

こうしてみると、記録に残されたバッハのオルガン演奏の特徴は、まさにギエルミの演奏の特徴と共通していることに気付かされます。イタリア音楽から多くを学んだバッハのオルガン演奏。その響きが、ギエルミの手によって、私たちの前に再び現れるのです。リサイタルにどうぞご期待ください。

## ロレンツォ・ギエルミ オルガン・リサイタル

2/3 **水** 18:30 開場  
19:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM  
全席指定 A席 3,000円 B席 2,000円  
ユース (25歳以下) 1,000円

### 曲目

J. S. バッハ：協奏曲 二短調 BWV974  
(原曲 マルチェッロ：オーボエ協奏曲)  
協奏曲 イ短調 BWV593  
(原曲 ヴィヴァルディ：調和の靈感  
作品3の8)  
目覚めよと呼ぶ声あり BWV645  
前奏曲とフーガ イ短調 BWV543  
ほか

### 2015.11.1

#### 市毛恵子 ピアノトリオコンサート ～三大B！～

水戸を拠点に毎年コンサート活動を行っているピアニストの市毛恵子さんが、ヴァイオリンの工藤由紀子さん、チェロの伊藤耕司さんとピアノトリオのコンサートを開いた。バッハ〈G線上のアリア〉、ベートーヴェン〈大公〉、ブラームス〈ピアノ三重奏曲第3番〉など、まさに三大Bの名作ばかりのプログラム。長年活動を共にする3人の息の合ったアンサンブルに、会場からは大きな拍手が贈られた。《関根》アンケートから■祈るようなバッハの〈アヴェ・マリア〉から始まり、甘く美しいピアノの音と深い弦の響きに大変癒されました。(笠間市の方) ■3人ともとても素敵な演奏で聴きほれていました。素晴らしいかったです。(かすみがうら市の方)

### 2015.11.8

#### 中学校合唱の祭典 ～芸術館で歌おう～

水戸市立中学校全16校、各学内での合唱コンクールで代表に選ばれたクラスや団体が一堂に会し、その歌声を披露する演奏会。水戸市教育委員会、中学校合唱の祭典実行委員会との共催。コンサートのプログラムや看板の作成、そして当日の運営も、各校から選出された中学生たちによるプロジェクト委員が担当した。各校の発表を聴いたゲストのソプラノ歌手・小泉恵子さんは、心が一つになった素晴らしい歌声と称賛の声を寄せた。《中村》

### 2015.11.20,21,22

#### 水戸室内管弦楽団 第94回定期演奏会 水戸室内管弦楽団 豊田公演

ピアノのメナヘム・プレスラー氏が健康上の理由で残念ながら来日できなくなったため、代役として児玉桃さんをお招きし、曲目を「モーツァルト：ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467」に変更した。お客様にはご心配、ご迷惑をおかけしまして、誠に申し訳ございませんでした。指揮は7年ぶりの登場となる広上淳一氏。上記ピアノ協奏曲のほか、ハイドン：交響曲第102番、モーツァルト：交響曲第41番〈ジュピター〉を指揮し、名手揃いの水戸室内管弦楽団(MCO)とともに、古典音楽の美の世界をつくりあげた。

11月19日には青柳公園市民体育館にて「子どものための音楽会」を、22日には愛知県・豊田市コンサートホールにて豊田公演を開催し、どちらも大好評だった。《関根》

アンケートから■巨匠プレスラー氏の実演に触れることができず残念ではありましたが、児玉さんが代演以上の演奏をしてくれました。結果、初めから完成されたようなプログラムとなった気がします。晩秋の宵に優雅な時間を過ごすことができました。(水戸市:T.M.さん) ■広上さん、楽器そのものでした。身体全体での表現、MCOのメンバーと同化していました。また水戸に来てください！(ひちなか市の方) ■ものすごく白熱した演奏。素晴らしいかったです。引き込まれてしまいました。(水戸市:S.G.さん)

## 最近の公演から



1：市毛恵子 ピアノトリオコンサートのコンサート～三大B！～  
2：水戸室内管弦楽団 第94回定期演奏会

## 高校生のための水戸室内管弦楽団メンバーによる公開レッスン

2016年2/28(日) 14:30開始 会場:水戸芸術館コンサートホール ATM  
 【講師】工藤重典(フルート)、四戸世紀(クラリネット)、猶井正幸(ホルン)  
 【入場無料】(要整理券) 1/9(土)整理券配布開始  
 【整理券配布場所】水戸芸術館、茨城県立県民文化センター ほか  
 【お問い合わせ】(公財) いばらき文化振興財団 TEL 029-305-0161  
 (公財) 水戸市芸術振興財団 TEL 029-227-8118

## チケット・インフォメーション

### 《12月19日(土)発売分》

■水戸室内管弦楽団 第95回定期演奏会(第2部指揮:小澤征爾)  
 2016年3/25(金) 19:00開演、3/27(日) 14:00開演  
 料金【全席指定】S席 ¥15,000 / A席 ¥12,500 / B席 ¥10,000

※水戸室内管弦楽団第95回定期演奏会には、12/15(火)より財団運営維持委員会、12/16(水)より友の会(一般、法人)会員の先行電話予約がありますので、12/19(土)の一般発売の時点で、公演日や券種によってはお客様のご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。  
 ※発売初日に芸術館でお求めになれるチケットは、水戸室内管弦楽団第95回定期演奏会では、お1人様1回につき2枚までとさせていただきます。

### 《12月20日(日)発売分》

■塙美里 サクソフォン・リサイタル〜ジュリアン・プティ氏を迎えて〜初来日記念公演  
 2016年3/19(土) 16:00開演  
 料金【全席自由】一般 ¥3,000(当日 ¥3,500) / 大学生以下 ¥2,000(当日 ¥2,500)

■M.L.R. & 茨城県立水戸第二高等学校コーラス部

2016年3/20(日) 14:00開演  
 料金【全席自由】一般 ¥2,500 / 高校生以下 ¥1,000

■水戸室内管弦楽団 東京公演(第2部指揮:小澤征爾)  
 2016年3/29(火) 19:00開演 会場:サントリーホール大ホール  
 料金【全席指定】S席 ¥15,000 / A席 ¥12,500 / B席 ¥10,000 / C席 ¥7,000  
 チケット問い合わせ:0570-55-0017(サントリーホールチケットセンター)

※東京公演のチケットは水戸芸術館チケット予約センターでは取り扱いたしません。

## これからの演奏会・残席情報

- …残席あり(20席以上) △…残席わずか(20席未満) ×…残席なし  
 中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席
- ◎中村真由美&中村佳代 ピアノ・デュオ・リサイタル……………12/13(日)自由席○  
 ◎クリスマス・プレゼント・コンサート 2015……………12/23(水・祝)中央×、左右○  
 ◎クリスチャン・ツィメルマン ピアノ・リサイタル  
 ………………2016年1/11(月・祝)中央×、左右・裏○  
 ◎ちよっとお昼にクラシック 幸田浩子(ソプラノ)  
 ………………2016年1/30(土)中央×、左右・裏○、補助○  
 ◎ロレンツォ・ギエルミ オルガン・リサイタル……………2016年2/3(水)1F○、2F△  
 ◎合唱セミナー 2016(講師:栗山文昭)……………2016年2/7(日)自由席○  
 ◎河村尚子 ショパン・プロジェクト 第3回  
 ………………2016年2/11(木・祝)中央○、左右○  
 ◎ちよっとお昼にクラシック 猶井正幸(ホルン)ほか 金管五重奏  
 ………………2016年2/26(金)中央○、左右○  
 ◎ Duo Reflet ピアノ・アンサンブルの世界 vol.2……………2016年3/6(日)自由席○
- ※11/28(土)現在の状況です。  
 ※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

## 水戸芸術館の主な1月のスケジュール

### コンサートホール ATM

■クリスチャン・ツィメルマン ピアノ・リサイタル  
 2016年1/11(月・祝) 17:00開演  
 料金【全席指定】A席 ¥8,500 / B席 ¥7,000 / コース(25歳以下) ¥3,000

■水戸市内小学校 東関東吹奏楽コンクール出場記念演奏会(入場無料)

2016年1/24(日) 11:00開演 千波小学校 / 15:00開演 常磐小学校

■ちよっとお昼にクラシック 幸田浩子(ソプラノ)〜初春を彩る、珠玉の歌の花々  
 2016年1/30(土) 13:30開演

料金【全席指定】A席 ¥1,500 / B席(ステージ裏) ¥1,200(いずれも1ドリンク付き)

### エントランスホール

■パイプオルガン プロムナード・コンサート(入場無料)

2016年1/9(土) 甲斐弦也、16(土) 内田光音、23(土) 栗田麻子

各日 12:00〜 / 13:30〜(各回30分程度) ※1/9(土)は13:00〜のみ(45分程度)

### ACM劇場

■伝統芸能のスズメ[落語] 春風亭昇太 独演会

2016年1/11(月・祝) 17:00開演

料金【全席指定】S席 ¥3,500 / A席 ¥3,000 / B席 ¥2,500

■劇団チョコレートケーキ with バンダ・ラ・コンチャン ライン(国境)の向こう

2016年1/17(日) 13:00 / 17:30開演

料金【全席指定】S席 ¥4,800 / A席 ¥4,200 / B席 ¥3,500

U-25(25歳以下)各席種 ¥500引き

■平成27年度朗読スタジオ発表公演 声のギャラリー 2016

2016年1/31(日) 午前の部 10:30開演 / 午後の部 14:30開演

料金【全席指定】 ¥500 ※出演者が異なる二部制のため、各回入れ替え制となります。

### 現代美術ギャラリー

■3.11以後の建築

11/7(土)〜2016年1/31(日) 9:30〜18:00 ※入場は17:30まで

[休館日] 月曜日、年末年始 12/27(日)〜1/4(月)

※ただし2016年1/11(月・祝)は開館、1/12(火)は休館

[入場料] 一般 ¥800 / 前売り・団体(20名以上) ¥600

※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料

■クリテリオム91 瀬尾夏美 ※料金は展覧会の入場料に含まれます。

### チケットに関するお問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000

営業時間: 9:30〜18:00(月曜休館)

### 公演内容や企画に関するお問い合わせ

水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118

ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>

公式ブログ <http://blog.arttowermito.or.jp/staff/>

ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場

twitter @ConcertHall\_ATM

## 編集後記

**大**化の改新、虫ごはん(645)。いちごパンツ(1582)で本能寺。日本史のみならず、数字の記憶はゴロ合わせに頼ってきました。先日届いたマイナンバーについて、インパクトのある覚え方がないが模索中です。(り)

**時**間が過ぎるのがとても早い。カレンダーをめくる度しみじみ思う。何よりさびしいのが、毎月めくるのを楽しみにしていたお気に入りの卓上カレンダーが今月で終わってしまう事。まだ新しいのを買う気にはなれない。(福)

**奥**久慈土産でブルーエッグという名の卵を初めて見た。殻が青い。鶏の卵? 幸せの青い鳥の卵だったらいいのに。いや、×××の卵だよ、と話が盛り上がる(注・正真正銘、鶏の卵だそう)。まだ食べていません。(篠)

**M**CO 豊田公演を終え、帰りの名古屋駅。お土産でもとぶらぶらして、指定時刻にホームに行くメンバーの姿がほとんど見えない。聞くと、早い電車で乗り換えてとっくに帰ってしまったらしい。私などのんびりしたもの。(て)

**市**民オルガン講座で一回体験に来た同世代の女性が、パイプオルガンを前にした瞬間、感動で言葉を失い、瞳を潤ませていた。ひとつひとつの音を丁寧に味わいながら奏でる姿に光が降り注ぎ、私も心が洗われる想いだった。(樹)

**学**生時代に先輩からタダで譲り受けたのが、ボロのスバル・レオーネ。今乗っているのもスバル車だ。その少数派ぶりを楽しんでたが、先のMCO公演に関わった調律師さんやスタッフにスバル乗りが多くて、びっくり!(中)

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ]  
 2016年1+2月発行 第204号  
 編集発行: 水戸芸術館音楽部門  
 〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8  
 TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130  
 E-MAIL [ankmr@arttowermito.or.jp](mailto:ankmr@arttowermito.or.jp)  
 URL <http://arttowermito.or.jp/>  
 編集: 水戸芸術館音楽部門(五十音順) / 石井亮子  
 福田枝里子 篠田大基 関根哲也 高栗真樹 中村晃  
 デザイン: 藤澤絢子  
 印刷所: 山三印刷株式会社